
こそこそ

JIN.KURA

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

じんこく

【著者名】

Z0972A

【作者名】

JIN・KURA

【あらすじ】

こそこれするのが大好きな中年男、じんの生き様、考え方
が分かるんです

「」、「」、「」

小学校の時、授業中に「」とキャラメル舐めたら、
先生に耳ひつぱられ、骨折られました。その後、先生が「」と
「」めんね、やり過ぎたよ。親には内緒だよ」と
言いつて、「」を逃げて行きました。

あ、申し遅れました。・・・んばんわ・・・です。
初めまして、「」です。本名では無いです。当たり前で
すけど・・・

別に「」したくて、年中「」している訳ではありませんよ。

自分・・・勇氣が、無いんですよ

ああ・・堂々と生きたいなあ

今日はよく分からんビルと、ビルの間に4時間挟まってました。
大好きです。あそこ。

あの日光が当たらず、湿氣だらけでキノコ・・・生えそうな所が大好きです

あつ、キノコは生えないですよね・・・大きさに言ひすぎました・・・
ビル関係者の方、もし見てたらすいません。

あと・・言いつらうんですけど・・ビルとビルの間に酔っ払ってゲ
口吐いたり、

喧嘩してピストル出すの・・辞めて欲しいです

僕の楽園なんです。

はあ・明日は堂々と生きたいなあ（ぼそぼそ、こわい声）

あつそれと、さつき親父がソワソワ、こそそそ、ソワツとしてたので、

なにかな？なにかな？と部屋をこそっと覗いたら・・

僕が買つて来た落花生を、なにかに取り憑かれたかの様に殻だけむいていたよ。そして

「落花生は殻が無いとピーナッツになるんだなあと、一人言を言っていたよ。怖いなあ・・僕の親父

「そ、そ、そ、」

中学の時、こつそり好きな子の下駄箱の中に入ってる靴の匂いを嗅ぎました。3日に一度。2学期を超えたあたりからは臭くてたまりませんでした。

さすがに今思うとなんで匂い嗅いでたのか···なんのこつちやです。いや···変な話し···今でも理解できますけどね···あへへ

あつ、どもじも、JAPANESEです。

僕は今、37歳、独身です···

いつまでこそそと生きるのかなあ??

まあ···僕の事なんてどーでもいいんですけどね。

まあ、そんな事は置いといて···

今日はデパートのトイレの大便コーナーに4時間いましたよ。いろんな人にノックされるのがたまりません。まさにこそそと息を潜めます。

あ···今度女子便所にしょーかなあ···うふふ。犯罪だなあ。

トイレの便器に座りながら、マガダミアナツツを食べるのが好きです。

内緒だよ それでウンコするとナツツがいい感じでウンコに混ざるんだ!

神秘的な気分になれるよ。試していらへん。

残ったマガダミアナツツは便器に放り込み、水を流すんだ。苦しそうにクルクル回りながら流されて行くよ。

神秘的だなあ。

あつそれと今日、マクナルドに行つたら、裏の倉庫と所でドナルトが居たよ。

なんか、こそこセミネズミをクチにくわえて、両手にも沢山ネズミを持つてたよ

なにに使うのかなあ？？

とりあえず、美味しいハンバーガー、買つて食べましたけど···

今日はいろいろ考えて疲れたから早く寝よ···

「いやいや、いや、

小学校の時、こつそりパンツ履かないで、よく学校にいました。
体育がある時は、もうドキドキものでした。

いや、ドキドキというか、よくチ ロ丸出しだした。

今日はですね、親父がずっと昔から「いやいや、と貯めてくる小
銭を

こそつと銀行に両替に行つたら、

7万円もありました。うへへ。YES!-YES!-

あ、申し送れました、こそ、ΜΕΝです。

僕は無職なので7万円もの大金を初めて手にしました。

何に使おうかなあ、

盗聴器買おうかなあ（切実）

マンション買おうかなあ（買えない）

耳かき買おうかなあ、（意味は無い。なんとなく「いやいや」している
から）

スペイの専門学校の入学金にしようかなあ（無い、そんなの）

こそつと気配消すために武道でも習おうかなあ（そんな理由じゃ入
れない。いや、分からんけど）

うへん、悩む、あ、あの子になにかプレゼントしようかなあ？
僕は近所で一人暮らしをしてる、ヒロハヤヒヤンが大好きなんです、

よく、「いやいや」と、望遠鏡で彼女を観察しております！！！ハアハア
！-YES!-YES!-

僕は散々悩みましたが、とりあえずお家に帰りました。

親父に呼ばれました、、、すぐばれました。

殴られました、、、

ああ～！…憎い！

僕はその夜、こそっと親父が寝ている隙に親父のカツラ（親父、はげてるんです）の中に納豆を流し込んでやりましたよ。

次の日も親父に殴られました。

金は没収されました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0972a/>

こそこそ

2010年10月28日03時30分発行